

ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録 3 : 8

VOL.01-06 NO.006 2009年9月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール:nanbu-kyokai@nifty.com

URL:<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

小さいと思われる事を

橋本幸夫

「また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をする事を志し、自分の仕事に身を入れ、自分の手で働きなさい。」

(I テサロニケ 4 : 11)

こんな詩があります。

おおさわぎはありけれど
こさわぎはありません
ふしぎだな なぜかしら

おおそうじはあるけれど
こそうじはありません
ふしぎだな なぜかしら

おおあばれはあるけれど
こあばれはありません
ふしぎだな なぜかしら

おおいそぎはあるけれど
こいそぎはありません
ふしぎだな なぜかしら

みことばに〈大きなみことば〉と〈小さいなみことば〉があるようです。大きなみことばというのは心にズシッと響く

ようなみことばであり、小さなみことばは心のひだにそっと届くみことばです。

ヨハネ福音書 3 : 16 は、クリスチャンの間ではとても有名なみことばです。聖書全体のメッセージを数行にギュッと凝縮したような大きなみことばです。

それに対して冒頭のみことばは、心のひだに届く小さなみことばではないでしょうか。

仕事が忙しくなりバタバタしている、何か神経が苛立っている。そして人に対して静かに接することができない。そういうときに常に思い浮かべるみことばです。

「落ち着いた生活をする」「自分の仕事に身を入れる」「自分の手で働く」と三つのことが書かれています。

バタバタしないで、自分の仕事は何であるか、今自分がしなければならないことは何であるかを考え、その仕事に身を入れて自らしっかり働く。そうすれば人々に対して品位を保つことができるのです。

冒頭のみことばは決してズシッと心に響くものではなりませんが、小さいと思われることを大切にしなさいとおしえているようですね。